

～3学期始業式の言葉～

みなさん、いよいよ2025年、令和7年がスタートしました。どのような年明けを過ごすことができましたか？穏やかに新年を迎え、今日、こうして無事に3学期始業式を迎えられること、そして、当たり前の日常があるということに、あらためて感謝したいと思っています。

さて、年があらたまるこの機会に、新たな年を迎える決意、目標を、そして、そのために目指す具体的な姿を思い描くことはできていますか？きっとそれぞれが新たな決意を持って、今を迎えていることと思います。

ぜひ、その気持ちを大切にしてください。もし、まだ決めていない人は、小さなことでもいいから「やり遂げたいこと」を目標にしてみてください。目標を決めることができれば、それはもうその実現に向けて一歩進んでいる姿です。次は、失敗を恐れず挑戦してください。小さな気づきから変えていく。これもまた挑戦です。

1月・2月の心のテーマは「なりたい自分」です。どんな人になりたいかやどんな生き方をしたいかなどについて考えることは「夢」の実現への第一歩です。

「なりたい自分」を思い描き、一人で頑張るのではなく、誰かに支えてもらい、励ましてもらいながら頑張ることができれば花丸です。そして、やり遂げた後、一緒に喜び合ったり、ありがとうと感謝を伝えられたり、今度は自分が助けたりできる人になってほしいと願っています。

さあ、いよいよ仕上げの3学期がスタートします。3年生にとっては中学校生活の集大成、卒業までのカウントダウンが始まります。1・2年生にとっては、4月に一つ上の学年になるための準備期間となります。きっとあっという間の3学期になるかと思います。3年生にとっては2カ月あまりです。

2学期の終業式で「板津中学校のあたりまえ」の話をしましたが、あたりまえのことをあたりまえにできる自分でありたいとまずは思うこと、そして、何をあたりまえとするかをみんなで考え、そのあたりまえのレベルが高い集団であることを誇りに思える仲間と共に、小さな挑戦を繰り返し成長できる、そんな学校であってほしいと願っています。この仲間と一緒に過ごせる残された日々を、1日1日大切に過ごしてください。

今年の干支にちなんで、しっかりと脱皮、つまり小さな気づきから変えていくことを繰り返し、たくましく成長し、この板津で過ごした時間が人生の宝物になるよう願っています。

以上、3学期始業式の言葉とします。